

心臓外科・血管外科

1. 概要

先天性心疾患：NMCにおいて1kgに満たない小さな子たちに救命的な手術を行っている。以前より一貫して将来を見越した胸筋温存による手術を行っており、この術式を取り入れている施設は全国でもごくわずかである。それ以外の症例については、他院へお連れして手術を行っている。

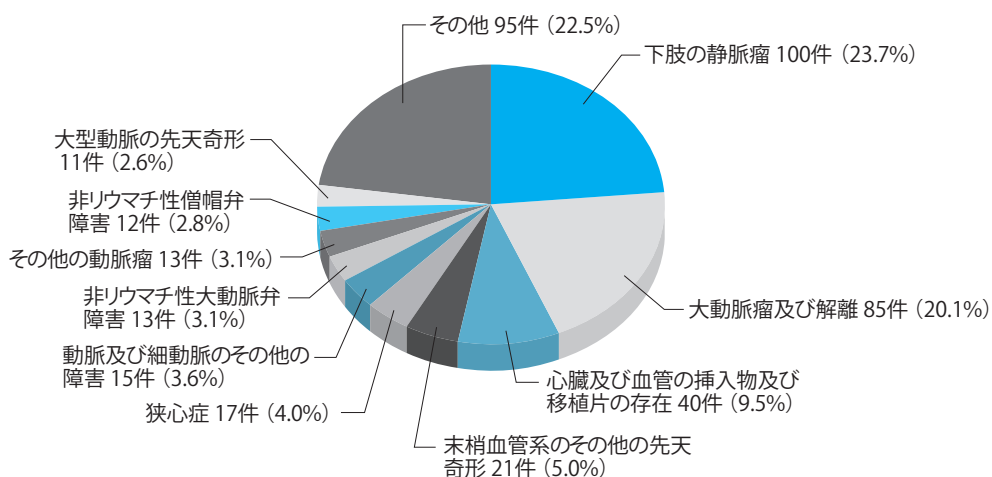
成人心疾患：症例数が多くなくチームの練度が上がらないのが現状であるが、日々のカンファレンスを充実させ一歩一歩進んでいる。

血管外科：下肢静脈瘤に対して血管内焼灼手術を取り入れてから、2年以上がたち130例を超える方々に施行した。静脈瘤の再開通例はなく海外のデータと比較しても良い成績であると自負している。現在、腹部大動脈瘤に対するステント治療を当院でできるようにするため、ハイブリッド手術室の準備を進めており、多くの方々の協力を得て目標実現に向かっている。

(部長 中山 雅人)

2. 新規登録疾患

総数：422件



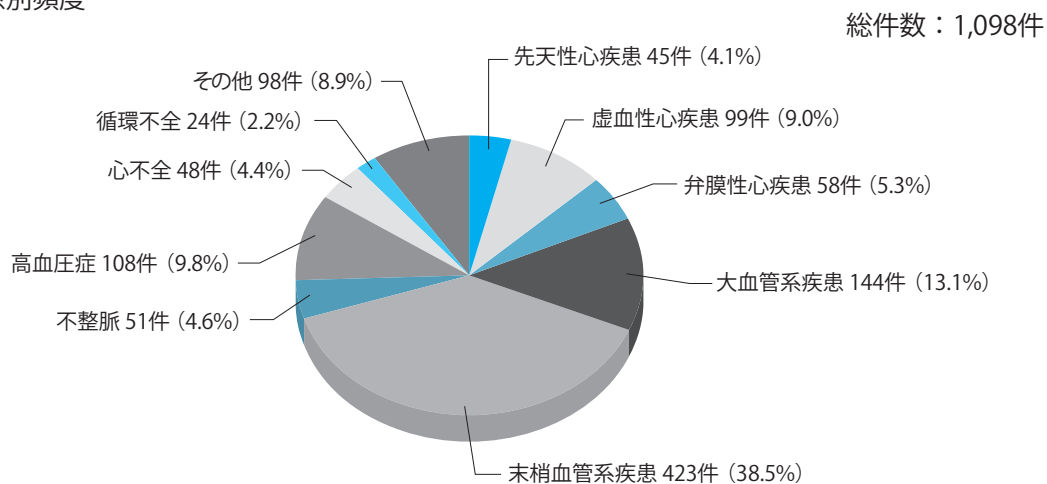
疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
下肢の静脈瘤	潰瘍又は炎症を伴わない下肢の静脈瘤	64	I839
	炎症を伴う下肢の静脈瘤	36	I831
大動脈瘤及び解離	腹部大動脈瘤, 破裂の記載がないもの	46	I714
	大動脈の解離 [各部位]	21	I710
心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	その他の心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	30	Z958
末梢血管系のその他の先天奇形	末梢血管系のその他の明示された先天奇形	21	Q278
狭心症	狭心症, 詳細不明	16	I209
動脈及び細動脈のその他の障害	動脈の狭窄	14	I771
非リウマチ性大動脈弁障害	大動脈弁閉鎖不全 (症)	8	I351
その他の動脈瘤	部位不明の動脈瘤	9	I729
非リウマチ性僧帽弁障害	僧帽弁閉鎖不全 (症)	12	I340
大型動脈の先天奇形	動脈管開存 (症)	9	Q250

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	2,806人	年間外来新患者数	241人
年間入院患者数	3,681人	年間入院新患者数	196人

(2) 疾患別頻度



学会発表（医局）

<心臓外科・血管外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	大腿静脈内へ急速進展した血栓を伴う大伏在静脈venous aneurysmの1手術例	共同演者	中山 雅人	第45回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/2/11
2	Visceral malperfusionを伴った急性A型大動脈解離 救命できたが注意深い経過観察が必要となった1例	筆頭演者	外山 正志	第147回日本循環器学会 東海地方会	浜松市	2016/6/11
3	大動脈弁乳頭状線維弾性腫の2例	筆頭演者	外山 正志	日本循環器学会第148回 東海・第133回東北合同地方会	金沢市	2016/11/5